

広報 やまこし

1981
9月
第159号

発行/新潟県古志郡山古志村役場 電話 (025859) 2331 ■印刷/大川印刷株式会社 ■毎月1日発行



村単ほ場整備・農道舗装

57年度申し込みは9月末までに



お知らせ

昨年より実施されているほ場整備(田の切り直し)、農道舗装の村単補助事業の、五十七年度分の申し込みを受け付けます。希望者は九月三十日までに申し込んでください。

ガン無料検診 —種苧原地区—

9月は“がん制圧月間”です。種苧原地区は、今年がん予防推進モデル地区に選定されており、胃部検診車7台、子宮がん検診車2台により無料検診が行われます。対象者は必ず受けてください。

日時—9月13日(日)
午前7時より
会場—種苧原小学校

- 対象者・胃部検診—40歳以上男女全員
・子宮がん検診—30歳以上女性
- 費用—無料
- 主催—新潟県成人病予防協会、新潟県

ただこうというものです。補助率は二〇%ですが、事業は次の基準に合わなければなりません。

▼ほ場整備(田の切り直し)

- (一) 事業は個人または共同で、一団地二〇アール以上。(面積は水張り面積とする)
- (二) 畦畔の土羽の勾配は一割、築立の内法は八分、外法は一割以上。天端幅は一・〇m以上。
- (三) ほ場整備に付帯して農道を作る場合、起点は国、県、村、農林道とし、延長二〇〇m以内、幅員三・〇m、勾配一五%以内で、車両通行可能なもの。
- (四) 水源(井戸、ため池等)は補助対象外とする。

▼農道舗装

- (一) 勾配が一三―一七%で、工事延長が二〇―一五〇mのもの。
- (二) 舗装はコンクリート舗装で、舗装厚は一〇cm。
- (三) 測溝(U字溝)を敷設すること。(新設の場合は補助対象)

▼申し込み

申込用紙は、役場建設課農地係に用意してあります。詳しいことは係までおたずねください。

なお、工事を始める前と完了後の写真各二枚を必ず撮ってください。(建設課)

秋の全国交通安全運動

9月21日～30日

—重点事項—

- ①交通三悪(飲酒運転、スピード違反、一時不停止)をなくそう。
- ②子供と老人を事故から守ろう。
- ③自転車に正しく乗ろう。
- ④暴走族を、家族ぐるみ、地域ぐるみで追放しよう。



村史史料集

特別割引は9月末まで



昭和五十二年度から始められた村史編さん事業も、ようやく「史料集」を発行し、八月から頒布を開始しました。大変好評をいただき、村内から

約五〇〇部、村外からも多数申し込みをいただいています。

料金は、二冊一セットで四、五〇〇円(十月から五、〇〇〇円)ですが、村内一帯につき一部に限り特別割引価格で頒布しています。ただし、この村内特別割引は九月末で打ち切らせていただきますので、十月以降は全て一部五、〇〇〇円となります。

まだお求めになっていない方は九月末までに早めに申し込みください。また、村内出身の方などにもおすすめてくださるようお願いいたします。(連絡をいただければ、パンフレットを送付します)

頒布は二、〇〇〇部限定で、役場と種苧原公民館で行っています。村内の方は、現金と引き替えでお願います。

(総務課)

カラオケ大会

—二丁野

さる八月二十日、二丁野の白髯神社でカラオケ大会が行われました。主催は竹沢青年会(星野耕嗣会長)。

この大会も今年で三回目、聴衆五〇〇人が集まり、広い境内もいつぱい。幼い子供からお年寄りまでの三〇人の歌い手が、自まんののを競い合いました。

カラオケフォームとあって、さすがにみなさん上手です。プロ顔負けの歌に審査員も困ったようす。結局優勝は、「函館の女」を歌った星野哲男さん(下村)がさりました。

人口の動き
(56.7.31現在)

■人口 3,569(-2) 男 1,776・女 1,793 ■世帯数 915(-2)
 ■7月中のうごき □出生 5 □死亡 3 □転入 7 □転出 11



▲ホウキ、ゾウキン作り 神社、学校、保育所へ贈り、喜ばれた。

「クラブ活動で張り合いを」

虫亀老人クラブ「亀寿会」

虫亀老人クラブ「亀寿会」(長島金治会長、会員一五三名)は三十九年に発足。去年と今年の二年間、三古郡老人クラブ連合会より「重点活動実践クラブ」に指定されている。
当初から、会員のまとまりが良く、活動も盛んだったとのこと。「七〇八年前から神社の掃除をやったり、道路わきのビンや空きかん拾いを始めたんです。このころから若い人が、年寄りもたしになる」と言ってくれ、うれしかったし、張り合いも出てきました」と、会長の長島さん。楽しみながら、社会のためになり、健康づくりも」と、活動をすすめてきたという。
重点クラブに指定された去年か



▲神社の掃除 7~8年前からやっている。林もあってかなり広い。

らは、学校林の下草刈り、花だん作りも始められ、会員の寄りもいっそう強まった。公民館や学校などとも交流が深まった。
「今年の秋は、保育所に、孫の木」を植えようと思っているんです。木の種類は決まっています。桐あたりはどうでしょう。
活動は今以上に、長く続けたいです。それには、まずよい指導者が必要です。冬場の活動も何か考えなければ……」と、意欲満々。
(写真は長島貞助さん撮影)



▲学校林の下草刈り 今年7月に41人で行った。豪雪だったため、太い杉まで倒れており作業は大変だった。

▲花だんづくり 今年春、診療所のまわりに菊、しゃくやく、グラジオラスなどを植えた。時々草取りを行う。



▲寺泊老人クラブと交流交歓会 8月11日に虫亀小で、海と山の老人クラブの活動について、意見交歓が行われた。

9月15日は「敬老の日」 お年寄りの 生きがいとは



▲三古郡老人スポーツ大会 8月24日、山古志中学校で行われました。集まったのは、三島郡・古志郡の7町村に寺泊老人ホームの合わせて8チーム、450人のお年寄りです。

スプーンレース、玉入れ、400mリレーなど12種目に猛ハッスル。山古志村チームは抜群のチームワークを見せ、見事優勝を果しました。……写真は「お年寄りと孫の数字合わせ」、竹沢保育所の児童も協力してくれました。

いま日本では、百人のうち九人が八十五歳以上のお年寄り、これが昭和九十年には十八人と倍。村内では現在十七人、これからも間違いなく増えるでしょう。
ところで、昭和九十年に六十五歳になる人は、いま働き盛りの三十一歳。高齢者問題は、何もお年寄りだけでなく、若い人たちがやがて直面するテーマです。

九月十五日は「敬老の日」。この機会に、お年寄りの生きがいとは何か考えてみましょう。

よき老後とは

「まず健康で、暮らして困らなくて、生きがいのある生活」と、だれもが口にします。

——ある家での話です。

「子供や孫に新鮮な野菜を食べさせてやりたい」おばあさんは、畑仕事が一番の楽しみでした。

ところが、子供から「少しは体のことも考えてください」と、野菜作りを止められてしまいました。子供にしてみれば、おばあさんの足腰の痛みを心配し、休ませてやりたかったのです。

ところがこの日以後、おばあさんは部屋に引きこもりがちになって、さらに生来の持病を再発してしまいました。

——つまり、野菜作りがこのおばあさんにとって、生きがいだ

「1杯の酒と テレビが楽しみ」

ただいま96歳—
木籠の畔上フジさん



村一番の
お年寄り

村一番のお年寄り、畔上フジさん(木籠、友一さん方)は、明治18年生まれの96歳。

去年までは天気の良い日にはよく外に出、草取りや花を植えて楽しんでたとのこと。今年はほとんど出なくなったそうですが、それでも家の中でテレビを楽しんでおり「眠る時もテレビがついてないと張り合いなさそう」と友一さん。長寿のひけつは、と聞くと「毎

朝卵を1つずつ、毎食のりのつくだにを欠かさず、それと年金をもらうようになって毎晩コップ1杯の酒を飲んでいる」とのことです。

最近のことは忘れやすいが、昔の記憶はしっかりしているようで「近くの人で百まで生きたということ聞いたことがないので、できるだけ長生きしたい」と。

いるのです。

「老」の意味

つたのです。この話は極端な例かもしれませんが、お年寄りの生きがいと考えると、私たちが心したいのは「積極的に生きようとする意欲を奪ってはならない」これが基本です。

総理府の調査で、お年寄りに職につきたい理由を聞いたところ、生活をより豊かにしたい29%、生活費を得たい17%、余暇ができた14%、知識や技術を生かしたい8%と、現に積極的な意欲を持って

室町時代の宿老、中老、江戸時代の老中、家老——昔の要職を示し、「老には「敬」や「重」の意味が含まれていました。ところが現在では、年をとった」という意味がほとんど。
最近では「老人」の代わりに「熟年」という言葉も使われ出しましたが、「老」の持つ本当の意味をもう一度考えてみたいものです。



国民健康保険

ことしの保険料

保険料の計算方法 (年額)

- ①所得割 (前年中の所得—22万円)×0.0409
(ただし、事業専従者控除、および譲渡所得の特別控除はしません。)
- ②資産割 固定資産税額×0.3459
- ③均等割 1人当り 7,491円
- ④平等割 1世帯当り 11,334円
- ⑤低所得者に対する軽減額
 - イ、所得が23万円以下の世帯
 - 1人当り 3,600円
 - 1世帯当り 5,568円
 - ロ、所得が世帯主23万円と他の被保険者1人につき175,000円の合計より低い世帯
 - 1人当り 2,400円
 - 1世帯当り 3,712円
- ⑥最高限度額 1世帯 26万円

みなさんが医者にかかる医療費は毎年増加し、昭和五十五年年度の総医療費は二億一千万円にもなりました。今年度は医療費の改定もあり、さらに増えるものと予想されます。

この医療費の増加により、保険料も多くいただくかなければならぬ

いことになり。が、山古志村は県下で最も安い保険料です。国保は助け合いの保険です。今年度の保険料の割合(料率)は次のとおりですが、趣旨をご理解のうえ納入にご協力ください。

▼保険料の計算方法…別表のとおり、①から④までの合計が一

年間に納めていただく金額です。ただし、低所得者については、世帯の状況により軽減し、保険料の最高限度額は二十六万円です。

▼徴収方法…一期(四月)、二期(六月)分は、今年度の保険料が確定しないため、昨年度の額の二割ずつ仮に徴収しました。三期(八月)からは、確定した本年度の額から仮徴収分を差し引いて、その残額を六期分までに分けて納入していただきます。

— 保険料はその年によって、所得や家の新築等で大きく変わってきます。前回と比べて二倍、三倍になる例もあります。八月(三期)分の納入通知書には、所得額や固定資産税額などの保険料算出の根拠を記入してあります。内容をよくご覧になり、不明な点は住民課へおたずねください。

労働保険の適用徴収事務を迅速に行うため、十月から届出書類の様式が変わります。

新しい書類では、記入された文字を直接、光学文字読取装置(OCR)で読み取るようになります。このため、記入する文字(カタカナ)、数字は、OCRが読みとれるように書いてください。

長岡労働基準監督署
長岡三三二八七一



▲ジャンボ稚魚の品評会

8月17日に虫亀の神社境内で稚魚の品評会が開かれました。この稚魚は、春に虫亀鱗友クラブ(五十嵐幸作会長)の会員19名が、白いジャンボ鯉から共同採卵したものです。体長は10cm近くに伸び、模様もこのまま秋の品評会に出せるほど。

「やはりでっかい。アギから口先までが長くて、伸びる骨格をしている」と、これから先が楽しみとのこと。



▲中山トンネルに照明

八月三日、小松倉から広神村へ通ずる中山トンネル(全長約九〇〇m)に照明がつけました。

八月十四日、成人式が役場で行われました。対象者は村外に出ている人も含め八十四人、うち四十八人(男二十二、女二十六)が出席。テレビ取材も行われる中、式辞、祝辞の

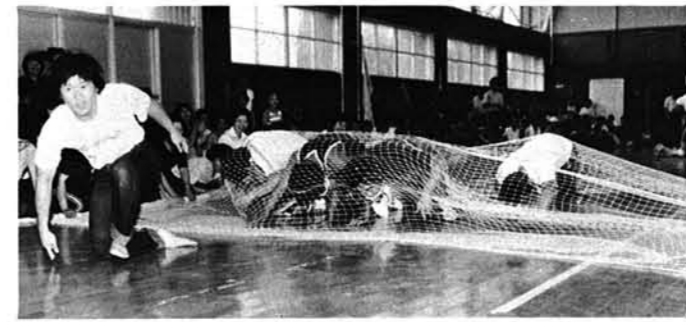


▶成人式

後、田中仁君(虫亀・六郎さん方)が新成人の抱負を述べました。式後は恒例により、弥彦神社参拜、角田浜海水浴場に出かけましたが、泳いだ人はいなかったそうです。



バスに乗って弥彦神社へ



障害物リレー

▲若人交歓会

8月17日、若人交歓会が竹沢小学校で開かれました。今年、村内の青年と帰省者等を対象にし、参加者は男29人、女12人の計41人。ちょっと少なめでしたが、そこは気心の知れた者同士、童心に帰ったようにゲーム等を楽しんでいました。帰省して、たまたまこの交歓会に出席したという青年は、「いい勤め口があれば、こっちに帰ってきたいんだが……。とにかく、こういう催しがあって非常にうれしい」と話していました。



▲第13回村レク

13回目を迎えた村総合レクリエーション大会は、8月23日、山古志中学校で行われました。今年も雨に降られ、これで3年連続体育館の中。各公民館チームが8つの種目で競い合い、種芋原チームが319点を取って昨年に続き優勝カップを手に入れました。

人権擁護委員に 風間伴治郎さん

人権擁護委員―坂牧春吉さんの後任に、風間伴治郎さん(種芋原)が八月一日委嘱されました。人権擁護委員は、私たちの基本的人権を守り、自由人権思想の普及高揚を図るために置かれているものです。

次の問題でお困りの方は、お気軽に委員にご相談ください。なお秘密は絶対に守ります。

(新潟地方事務局長岡支局)

検察審査会 の活用を

「交通事故、詐欺などで被害を受けたのに、裁判にはかけられなかった。どうもふにおちない」

「選挙違反や汚職など大きな疑惑がもたれた事件なのに、告発しても検察官は起訴しなかった。納得できないわ」

— こんな不満のある人のために、検察審査会制度があります。この審査会は、市町村の選挙人名簿からくじで選ばれた十一人の審査員で構成されています。民間人を代表し、住民としての健全な良識に従って、検察官の不起訴処分を調べなおしてくれる民主的な国の機関です。

相談や申し立てに費用はかかりません。お気軽にご相談ください。

長岡市三和3-9-28裁判所構内
長岡検察審査会事務局
長岡三三二二四一

事業主のみなさんへ 労働保険の届出書類が 10月から変わります

成人式を終えて

「車に乗るのが一番楽しい」

向田の川上和夫さん



前回は続いて、成人式を終えたばかりの川上和夫さん(20歳)をおじやました。世帯主は勇吉さん。
「二十歳になってどうですか。
「別にどうってことは……。まだまだ、いろんなことをしたいし、自分の思うことやってみたいです」
成人式はどんなでしたか。
「お祝いに背広もらったんです。でも着て行きませんでした。暑いし、何だか照れくさくて。とにかく同級生に会えたことが一番良かったです。女の子は年頃になって化粧なんかしていて見違え

るようでした。それと、少しずつ山古志に帰ってきてるんで、うれしいし、成人式でも心強かったです」
「現在の仕事については……。
「新潟の訓練校を出て、すぐ今の会社(小千谷市・自動車修理)に入りました。車が好きだったん

です」
「今どんなことやってますか。
「やっぱり車に乗るのが楽しいです。それとひまさえあれば、車やポンコツバイク、自転車を使い回しています」
「やってみたいことは……。
「以前、野球をしてたんですが、また始めたいと思ってます。ひまができたらバイクで旅行、なんてのもいいですね」
「村にあったらよいと思う施設等がありますか。
「本を読むのが好きなんです。いろんなことを覚えられたりしますから。図書館なんかあったらいいと思うんです」
恋人については「まだ他にやりたいこともあるんで……」と、はっきり答えてはくれませんでした。

簡易保険お母さん
にが絵コンクール
入賞者



▶ 畔上まさとくん(3歳)
(橋木 正さん方)



▶ 川上すみこさん(5歳)
(間内平 春雄さん方)



▶ 青木まゆみさん(5歳)
(下村 金吉さん方)

働しながら大学へ
毎日奨学生を募集

毎日新聞社では、首都圏への進学希望者のために奨学生制度を設けています。
この制度は、毎日新聞販売所で新聞配達などに勤務することにより、学費の貸与や奨学金の支給のほか、生活費の一切を保証するものです。いま約五千名(女子二百名)の奨学生が、勉学と仕事を両立させてがんばっています。
現在、来年度の奨学生を募集しています。希望者にはパンフレットを送りますので、ハガキに住所氏名、高校、電話番号を記入のうえ申し込みください。
〒106 東京都新宿区大久保3-14-4
毎日新聞社早稲田別館
毎日育英会K係

NHK「青年の主張」
原稿募集

NHK「青年の主張」全国コンクール新潟県大会の原稿を募集しています。
応募資格は、県内に居住し、昭和三十一年一月十六日(四十二年四月一日)に生まれた人です。次の中から課題を一つ選び、五分以内で発表できる原稿(一、六〇〇字程度)を送ってください。
▽ことしの課題
A いま学園(職場)から訴える
B わたしの挑戦
C ひとつの出会い
D 同世代への提言
E 国際社会と青年
▽締切
十月二十三日(金)当日消印有効
▽送り先
〒950 新潟市弁天1
NHK新潟放送局
青年の主張係
詳しい応募規定を希望の方は、六〇円切手を同封し、係まで請求ください。

NHK 社会通信講座
'81秋の受講生を募集

講座は「書道」、「硬筆」、「母子の硬筆」、「簿記」、「俳句」、「文章」、「絵画」、「囲碁」、「英語」、「国語」の十講座二十九コースです。
この通信講座は、だれでも自宅にいながら都合のよい時間に、自分のペースで学べるものです。

国民年金

保険料の追納制度

保険料の免除を受けた方は
ぜひ「追納」しましょう

Table with 2 columns: 納入状況 (Payment Status) and 年金額 (円) (Annual Amount (Yen)). Rows include 免除25年 (Waived 25 years), 5年納付免除20年 (5 years paid, waived 20 years), 10年納付免除15年 (10 years paid, waived 15 years), 15年納付免除10年 (15 years paid, waived 10 years), 20年納付免除5年 (20 years paid, waived 5 years), and 25年納付 (25 years paid).

国民年金の加入者は、必ず保険料を納めなければなりません。経済的な事情などで納付が困難な場合、保険料納付の「免除」を受けることができます。免除を受けた場合、障害年金や母子年金などの年金額は変わりません。ところが、六十五歳から受ける老齢年金は、免除を受けた期間の年金額が保険料を納めた場合の三分の一

になってしまいます。
表は加入期間が二十五年の場合に、免除期間による年金額を表したものです。十年間の免除期間があるとすれば、年額で約十四万五千円もの差です。
国民年金では、この不利な免除期間をなくすることができます。「追納制度」を設けています。免除を受けてから十年以内であれば、保険料をその当時の金額で掛けることができる制度です。そうすれば、追納した分の免除期間はなくなり、保険料を納めていた場合と同じ取り扱いとなります。免除を受けた人は、生活にゆとりができたなら、ぜひ「追納」するよう心掛けましょう。
(住民課)

手紙のあかし (140)

容赦なしの処罰は、江戸市中をふるえあがらせ著名な戯作者、蘭学者、有名な版元、書舗など押なべてその対象になって消えていったなかに、ひとり馬琴はのがれたのだから、その鼻息の荒くなるのも無理からぬことであらう。
だがその馬琴も、さきに右眼を失明し左眼だけで朦朧々々ながら執念によって執筆を続けて来たのであったが、その左眼も長い間の酷使に視力を失って、ついに一字も見えない全盲になったのである。
文化十一年の正月、初めて書き出した八犬伝は以来実に二十六年間、登山にたとえればその九合目まで登りつめ、頂上を目指して全盲の不運に見舞われてしまった心中如何ばかりか、思いやられる次第である。
あと一步で、頂上に立つことが出来る、あと一合で完結まで詰められる、その一本一合が馬琴にはどうすることも出来ない状態になった。というのは馬琴は焦った。老羸瘦身に鞭うって半紙草稿に手さぐりに書くのであるけれども、筆墨の濃淡は